

給食たより

令和7年1月9日
文京区立昭和小学校

1月号

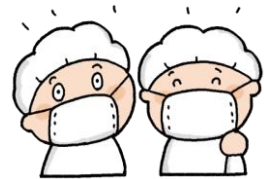
1月の目標

正しい姿勢で、よくかんで食べましょう。

新しい年を迎えました。みなさんはどんな冬休みを過ごしていましたか？

さて、1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間です。

いつも食べている給食に目を向けて、給食の役割について考えてみましょう。



今月は全国学校給食週間があります。

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて多くの方に知ってもらい、学校給食の充実と発展を図ることを目的として定められました。日本の学校給食の起源は、明治22年に貧困児を対象に昼食を無償で提供したものであるといわれています。献立は、おにぎり、塩さけ、漬物だったそうです。現在の学校給食は、栄養バランスのとれた豊かな献立で、子供たちの健康や成長を支えています。また、地域の産物や食文化なども学ぶことができます。感謝をしながら食べましょう。

明治22年の献立

<おにぎり、塩さけ、漬物>



正月の縁起物

にしん・数の子



にしんは「春(はる)告(つげ)魚(うお)」ともいわれ、正月料理などに欠かせません。また、数の子は、にしんの卵巣を塩漬けにしたもので、子孫繁栄の願いを込めて、おせち料理に入れられています。